



「木の良さを活かした長崎の住宅」

新築部門

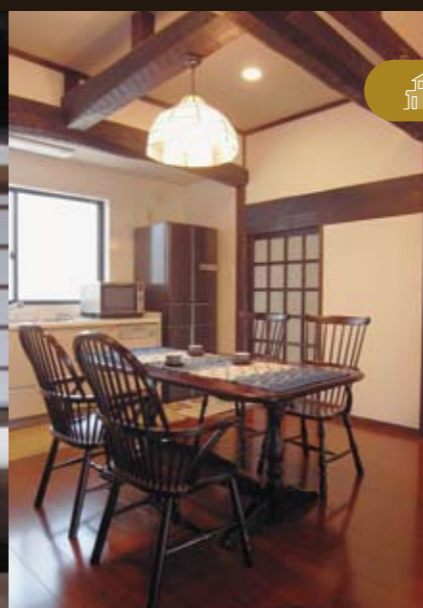


第12回 2009 新築部門 リフォーム部門  
長崎県木造住宅コンクール作品集  
木の良さを活かした長崎の住宅

第12回 2009

主催：長崎県

# 長崎県木造住宅コンクール 作品集



リフォーム部門

長崎県

発行：長崎県土木部住宅課 2010年3月  
編集：(財)長崎県住宅・建築総合センター 長崎市元船町 17-1  
印刷：日本紙工印刷(株)





毎年、数多くの住宅が建設されている中、わが国の風土に育まれた木造住宅への愛着は根強いものがあり、長崎県でも住宅の多くが木造となっています。また、木材は人にやさしいだけでなく、繰り返し生産可能な資源であり、二酸化炭素を大気中から吸収し蓄えることから、木材の利用を促進することは、環境に負荷を与えない循環型社会を創ることにもつながってきます。

長崎県では、木の良さを活かした良質な住まいづくりを進めるために、昭和62年から2年に1度「長崎県木造住宅コンクール」を開催し、今回で第12回を迎えました。

今回は、新築部門の他に、新たにリフォーム部門を設けて募集を行いましたところ、新築部門62件、リフォーム部門27件の応募がありました。

新築部門での受賞作品13点においては、いずれも木の良さを十分に活かしたデザインと住み手のニーズや環境への配慮などの点で優れたものや、住み手と造り手である設計者や施工者の情熱が、形となって現れており、大変、独創的、かつ落ち着いた空間に仕上げられています。

また、リフォーム部門での受賞作品6点においては、現在のライフスタイルに配慮して新たな空間を創出したもの、長く住み続けられた住宅の木材や建具を再活用したものなど、いいものを長く使おうという取り組みが形になっており、資源の有効利用や景観資産の保護に大いに寄与していると思っております。

この作品集がこれからの住まい方や木造住宅の方向性を示すモデルとして、県民の皆様の住まいづくりの参考になれば幸いに存じます。

県といたしましては、「住みたい・住める・住み続けられる長崎県」の実現に向け、地域の特性を活かしながら、安全で安心して暮らせる、質の高い住まいづくりに積極的に取り組んでまいります。

終わりに、このコンクールの実施にあたり、ご尽力を賜りました関係団体の皆様並びに作品の厳正な審査にご協力いただきました審査委員の皆様、厚くお礼申し上げます。

平成22年3月

長崎県知事 中村 法道

# CONTENTS

## 新築部門

### 最優秀賞 【該当者なし】

### 優秀賞 〈3点〉



川棚町 M邸



長崎市 S邸



長崎市 K邸



### 審査を終えて

今回の長崎県木造住宅コンクールは12回を重ね、これまでの新築の部門に加えて、今後増加が予想されるリフォーム部門を新たに設けました。応募数は新築62件、リフォーム27件にものぼり、その数の多さのみならず、全体的に質の高い作品が多く集まりました。この事業が、関係者に広がり着実に支持を得ていることを実感しました。

書類及び写真をもとに第1次審査にて入選以上となる13作品(新築)、6作品(リフォーム)を選び、つぎに第2次審査では、これらを現地で直接体感して、各賞を選考しました。そのポイントは、  
1)長崎の気候・風土・地域の特性に適しているか  
2)現在のライフスタイルに適応した機能を持っているか  
3)木の良さを活かした木造住宅か  
というものです。

いずれも力作ぞろいでしたが、審査委員会にて慎重に議論を重ね、新築部門では優秀3点を選考しました。

新築部門の優秀のS邸は、のどかな集落のたたずまいに調和するよう

切妻の大屋根がかり、杉板貼りのシンプルなお観をもつ住宅です。  
伝統工法にのっとり、長崎の山の木や土などの自然素材を使い、Sさんご家族もワークショップにて、施工に参加されるなど、今後の木造の家づくりへの可能性を感じることができます。

川棚町に建つM邸は、木製デッキの中庭を囲んだ平屋の住宅で、回遊性ある動線と開放的な空間をもち、地熱式の床暖房などの省エネルギーにも配慮されています。

郊外の住宅団地のK邸は、回りの緑の景色を室内に取り入れ、外壁は泥壁風、内部は構造材のみならず建具家具も木製で、薪ストーブと相まって、四季を感じることもできる住宅です。

また、入選作品は、それぞれに個性を有しており、木造住宅のよさを表現していました。

今後とも、地域の環境や景観に配慮し、住み手の生活を活かした、木造住宅が増えていくことを期待します。

新築部門審査委員長 伴丈正志

### 入賞 〈10点〉



佐世保市 M邸



波佐見町 K邸



長崎市 E邸



諫早市 O邸



大村市 T邸



平戸市 H邸



壱岐市 M邸



長与町 S邸



長崎市 I邸



長崎市 M邸

# C O N T E N T S

## リフォーム部門

### 最優秀賞



長崎市 N邸

P22

### 優秀賞 〈2点〉



諫早市 S邸

P24



諫早市 F邸

P26

### 入賞 〈3点〉



長崎市 M邸

P28



波佐見町 F邸

P29



雲仙市 M邸

P30

### 審査を終えて

今回の木造住宅コンクールは、従来からの新築部門の他に新たにリフォーム部門が加えられ応募作品は27件で木造25件非木造2件でした。書類ならび写真をもとに第1次審査にて、入選以上となる6作品を選び、第2次審査ではこれらを現地にあわせて見学し、各賞を選考しました。

その審査のポイントは新築と同じで、初回ということもあって、現地審査が重要になり慎重に議論を重ね、最優秀賞1点、優秀賞2点を決定しました。

いずれも旧い家を通して、ドラマ性があり、受賞作品に共通することは、築後80年以上の家で、それぞれの家族の思いを受け止め、設計者や工務店がその期待に応え、リフォームして良かったという満足感にあふれていることでした。

最優秀賞のT邸(長崎市)は、原爆で被爆し、瀕死の民家は、順次手を加えられたが、幸いに残された大黒柱や差鴨居、梁等の既存の主要な木構造を使用したものである。玄関、食堂には、屋根構造材の上に見せ、続き間の和室の1つは、茶道ができるように炉を切り、台所等の水回り関係は現代的な設備を取り入れ、機能的なリフォームになっている。木製建具にこだわり、手入れの行き届いた庭と相まって歴史と現代とが程よく調和した上質のリ

フォームです。  
優秀賞のS邸(諫早市)は築後130年の家で、立地条件から東向き田の字型プランで、日当たりが悪く、夏は暑い、通風が無い等の悪条件を克服すべく、旧家を活かしながら平面プランを工夫し、日当たり・通風・眺望まで解決した見事な増改築リフォームです。

F邸(諫早市)は、築後140年の農家で屋根と壁を全面改修し、柱・梁・天井等は米ぬかで磨き、建具はそのまま活かした古民家再生である。古い調度品や掘り炬燵・囲炉裡など住み手の感性が伝わってくる見事なリフォームであり他の入選作品より一歩優れたものになっていました。

近年、地球温暖化によるCO<sub>2</sub>削減の視点から、100年、200年住宅など長寿命建築や住宅づくりが叫ばれていますが、受賞作品は、木造住宅ストックのあり方や、その家で育ちかかわり合った人々の記憶や伝統を継承し、住み続けることの大切さを教えてくれるものでもあります。

今後とも地域環境を活かし、地域のお手本となるような良質の木造住宅リフォームが増えていくことを期待しています。

リフォーム部門審査委員長 宮原和明



# 川棚町 M邸

町中に建つ開放的な中庭をもつ現代的な住宅

## Data

設計者 有限会社 トモハウス  
二級建築設計事務所

施工者 有限会社 トモハウス

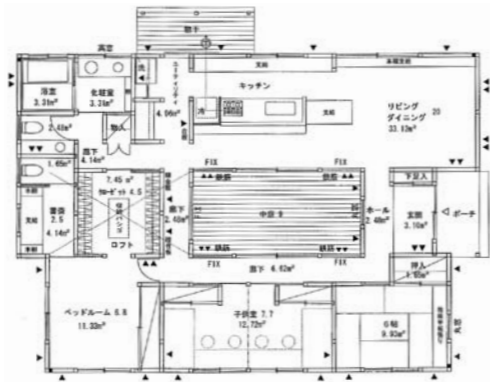
建設地 東彼杵郡川棚町

敷地面積 321.72 m<sup>2</sup>

1階床面積 120.48 m<sup>2</sup>

延床面積 120.48 m<sup>2</sup>

1F



### ◆ 住宅の特徴

川棚町に建つ中庭付き平屋建てのこの住宅は、仕事や家事、子育てに忙しいご夫婦のために、ゆとりのある生活を送ることができるようにデザインしています。

玄関を入るとそこは広々としたホールとなっており、正面には丸窓を通して中庭が広がります。この中庭は、室内にしながらも常に外部を感じることができ、お子様の遊び場や、ホームパーティ等を行う場合にはリビングの延長としても利用することができます。

高級感のあるキッチンを生リビングダイニングに配置、またユーティリティ等への家事動線も極力シンプルなものとし、家事作業の効率化を図っています。

読書好きなご夫婦のために、ユーティリティ内部、寝室横に夫婦それぞれの書斎スペースを設け、家事作業の合間等に使用できるように考慮しました。

真壁工法を採用し、内部は構造材現し、無垢の床板や天井板と合わせて木のあたたかみを感じることでできる空間となっています。

床暖房には省エネ、低ランニングコストである地熱式床暖房を採用しています。



洗面～洗濯場



東面外観



渡り頭による幹部出し桁



2F 子供室



2F 渡り廊下



リビング



玄関

# 長崎市 S邸

杉板の外壁・土塗り壁等の伝統工法による手作り住宅

## Data

- 設計者 HAG環境デザイン
- 施工者 大工池上算規
- 建設地 長崎市平山町
- 敷地面積 310.99㎡
- 1階床面積 72.20㎡
- 2階床面積 45.13㎡
- 延床面積 117.33㎡



## ◆住宅の特徴

この住宅は、敷地周囲ののどかさの漂う集落にふさわしい建物とするため、大屋根と杉板貼りの外壁によるおおらかな外観を特徴としている。一室空間からなる室内は、自然風の流りに配慮したほか、家族の成長に合わせて変化し、未永く使ってもらえるよう間取り計画をおこなった。生命の循環を一つのテーマとして、地産地消を実践するため、構造材の大部分は大村市内の山中にて大工自らが切り出し、数年間乾燥させたものを用いた。そのほか、地元の土や藁、竹など素性の分る素材で家づくりをおこなった。

構造は伝統工法の一つ、渡り頭工法により、大工の手刻みにより行われ、左官壁など職人による手仕事を大切に。また、家づくりの過程では、ワークショップなどを通し、お施主さん達、素人の方々にも竹小舞編みや土壁塗りなどに参加してもらい、家づくりへの理解と愛情を深めてもらう取り組みをおこなった。



南側ウッドデッキ



リビング

玄関前ポーチ



食堂からの眺望

台所～居間

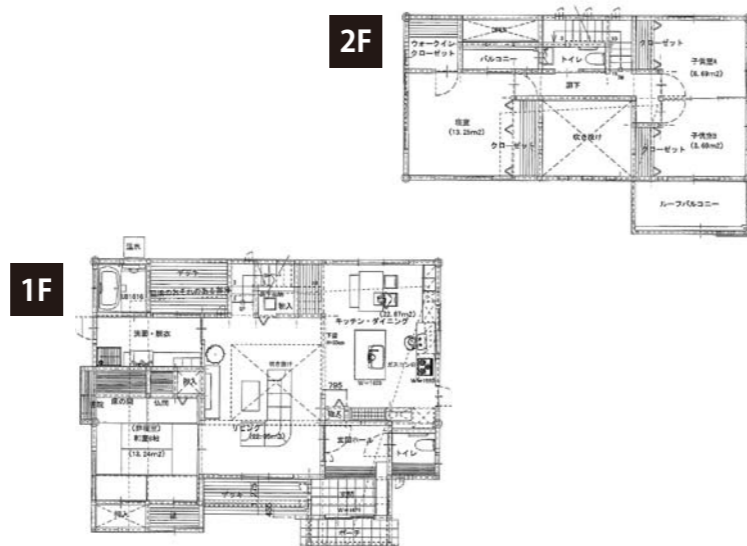
和室

# 長崎市 K邸

郊外団地に建つ四季を楽しむ泥壁風のシンプルな住宅

## Data

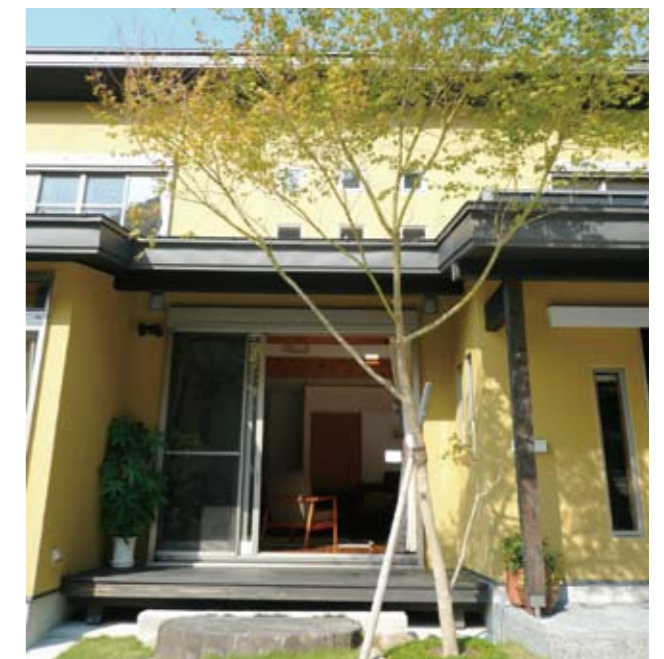
- 設計者 栗原宏行建築設計事務所
- 施工者 有限会社 光総合建設
- 建設地 長崎市東町
- 敷地面積 359.65 m<sup>2</sup>
- 1階床面積 90.80 m<sup>2</sup>
- 2階床面積 49.78 m<sup>2</sup>
- 延床面積 140.58 m<sup>2</sup>



### ◆ 住宅の特徴

この家は長崎市郊外の緑豊かな場所で、普賢岳のすそに位置する。

外観はシンプルに瓦葺き、外壁はラスモルタルに鍍でラフに泥壁風。内部は構造材をそのまま見せて壁・天井は杉材を、壁は漆喰で仕上げた。建具・家具の全てをベイ松のツキ板で造り、木の持ち味をふんだんに取り込んだ造りになっている。アプローチの樹齢150年のマキの木が放つ存在感と家とが周りの環境と一体になり、四季が織り成す恩恵を五感を通して体を感じる家になっている。





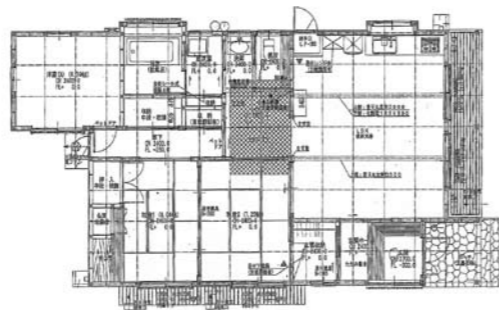
# 佐世保市 M邸

郊外団地に建つ空気調和を考慮した共生型住宅

## Data

設計者 永代ハウス 株式会社  
一級建築士事務所  
施工者 永代ハウス株式会社  
建設地 佐世保市母ヶ浦町  
敷地面積 461.32 m<sup>2</sup>  
1階床面積 98.00 m<sup>2</sup>  
延床面積 98.00 m<sup>2</sup>

1F



郊外の自然を楽しめる落ち着いた和風住宅

# 波佐見町 K邸

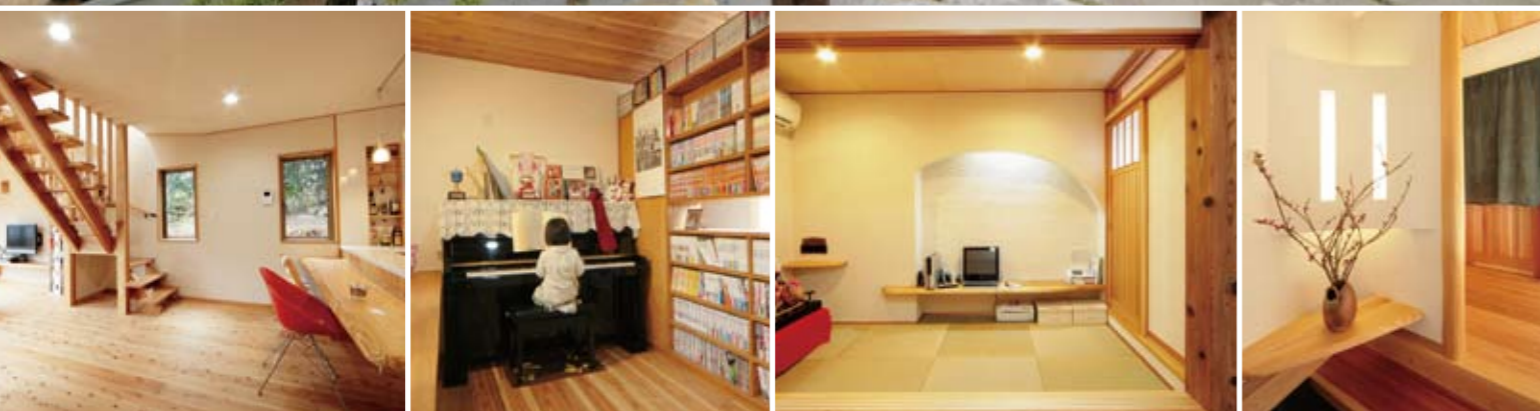
## Data

設計者 株式会社 波建  
施工者 株式会社 波建  
建設地 東彼杵郡波佐見町  
敷地面積 334.00 m<sup>2</sup>  
1階床面積 99.00 m<sup>2</sup>  
延床面積 99.00 m<sup>2</sup>

1F





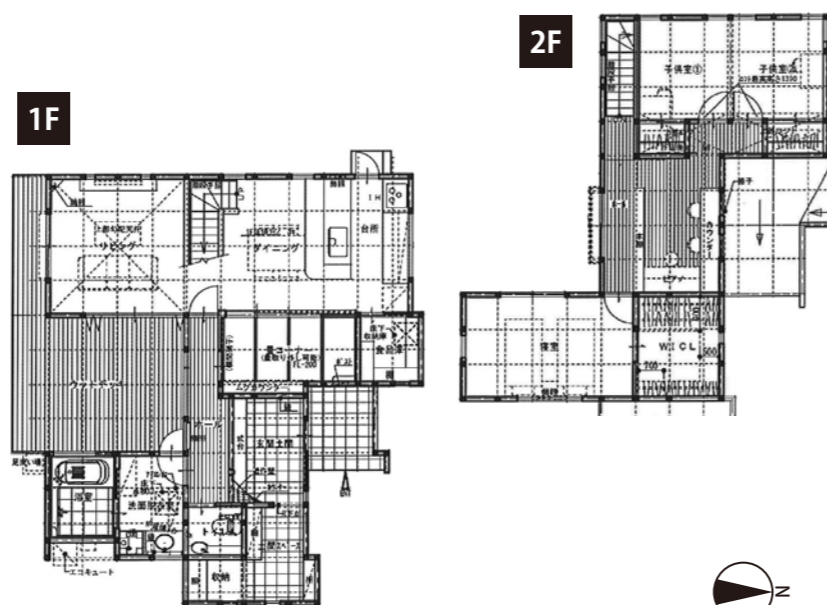


# 長崎市 E邸

植木のまちに建つウッドデッキを囲んだ自然派住宅

## Data

設計者 風の森プランニング  
 浜松建設一級建築士事務所  
 施工者 株式会社 浜松建設  
 建設地 長崎市松原町  
 敷地面積 279.94 m<sup>2</sup>  
 1階床面積 73.87 m<sup>2</sup>  
 2階床面積 51.75 m<sup>2</sup>  
 延床面積 125.62 m<sup>2</sup>

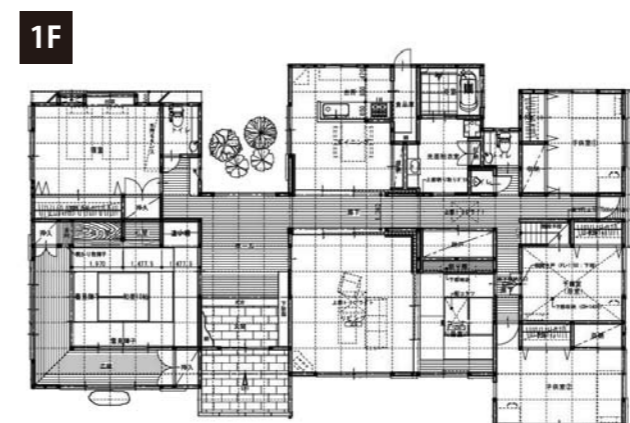


田園に建った本格的な和風住宅

# 諫早市 O邸

## Data

設計者 風の森プランニング  
 浜松建設一級建築士事務所  
 施工者 株式会社 浜松建設  
 建設地 諫早市長田町  
 敷地面積 476.34 m<sup>2</sup>  
 1階床面積 242.31 m<sup>2</sup>  
 延床面積 242.31 m<sup>2</sup>



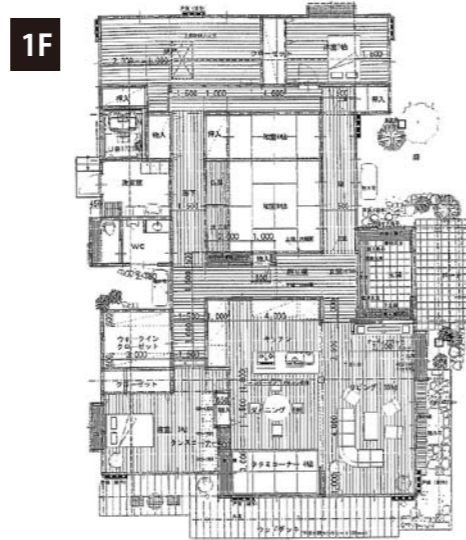


# 大村市 T邸

自然を満喫できる格式ある本格的な和風住宅

## Data

- 設計者 栗原宏行建築設計事務所
- 施工者 有限会社 光総合建設
- 建設地 大村市今富町
- 敷地面積 850.54 m<sup>2</sup>
- 1階床面積 252.65 m<sup>2</sup>
- 延床面積 252.65 m<sup>2</sup>

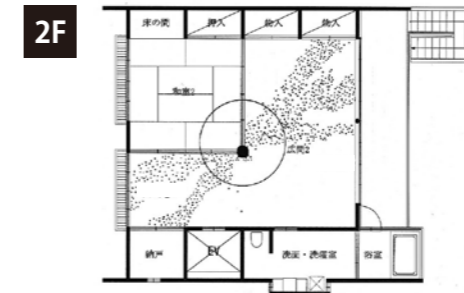


レベル差を活かす檼の大黒柱を中心とした現代住宅

# 平戸市 H邸

## Data

- 設計者 ハンマウム 建築工房
- 施工者 白石建設 株式会社
- 建設地 平戸市前津吉町
- 敷地面積 149.72 m<sup>2</sup>
- 地下1階床面積 45.06 m<sup>2</sup>
- 1階床面積 74.15 m<sup>2</sup>
- 2階床面積 77.21 m<sup>2</sup>
- 延床面積 196.42 m<sup>2</sup>





# 入賞



## 壱岐市 M邸

海風と自然光を取り込んだ和室を囲む現代的な住宅

### Data

設計者 有限会社 睦設計コンサルタント  
 施工者 長嶋建設  
 建設地 壱岐市郷ノ浦町  
 敷地面積 278.79 m<sup>2</sup>  
 1階床面積 131.06 m<sup>2</sup>  
 延床面積 131.06 m<sup>2</sup>



# 入賞

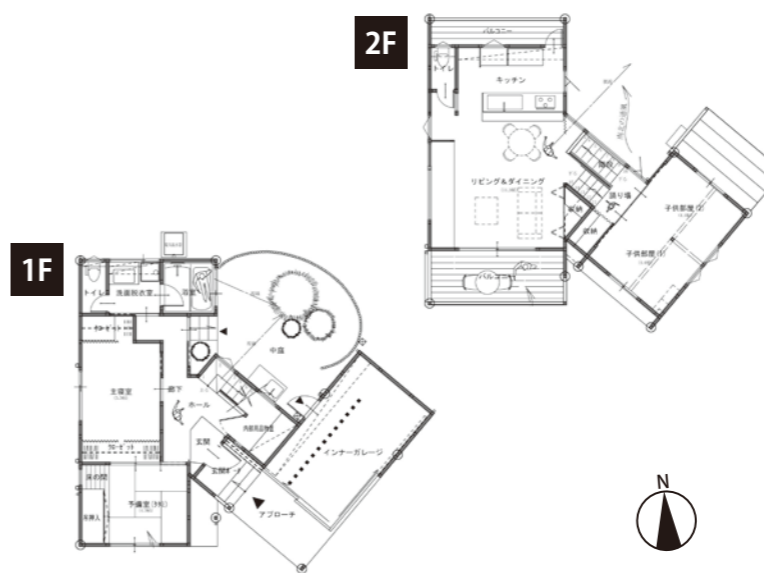


山並を望む中庭をもつスキップフロアの現代住宅

## 長与町 S邸

### Data

設計者 DesignWorksIkeshita  
 1級建築士事務所  
 施工者 池下建設 有限会社  
 建設地 西彼杵郡長与町  
 敷地面積 242.29 m<sup>2</sup>  
 1階床面積 46.48 m<sup>2</sup>  
 2階床面積 52.88 m<sup>2</sup>  
 延床面積 99.36 m<sup>2</sup>



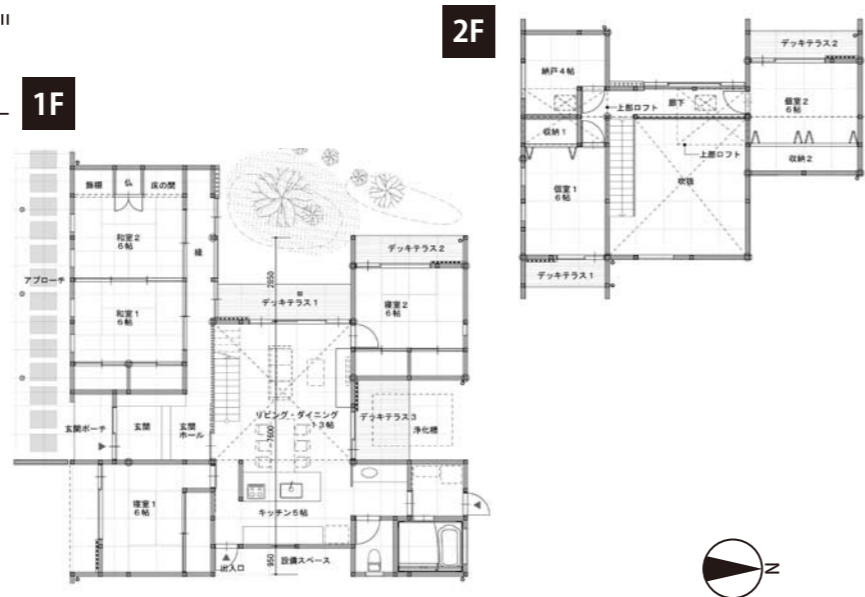


# 長崎市 I邸

集落の高台の眺望を活かした光あふれる現代住宅

## Data

設計者 RHYTHM 建築設計事務所  
 施工者 あげぼの建設株式会社  
 建設地 長崎市平間町  
 敷地面積 723.03 m<sup>2</sup>  
 1階床面積 123.41 m<sup>2</sup>  
 2階床面積 43.64 m<sup>2</sup>  
 延床面積 167.05 m<sup>2</sup>

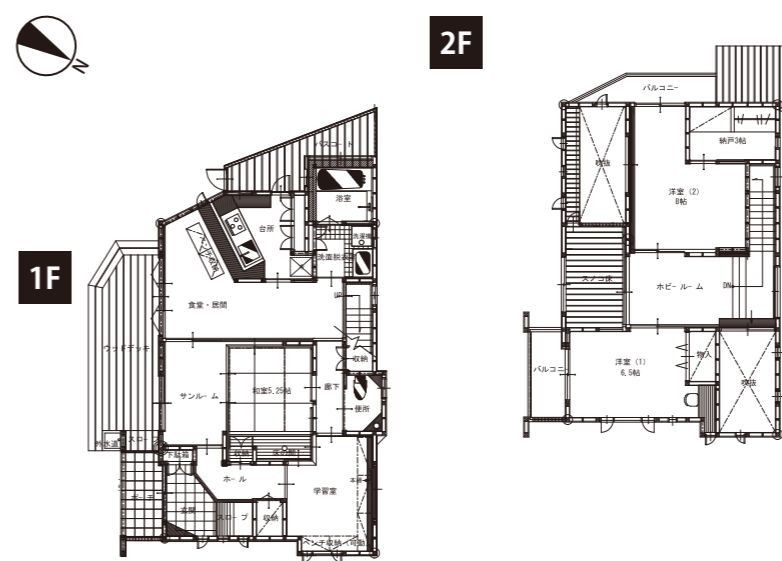


和室を中心に一体となる空間を風が通り抜ける住宅

# 長崎市 M邸

## Data

設計者 有限会社 アクトホーム  
 一級建築士事務所  
 施工者 有限会社 アクトホーム  
 建設地 長崎市柳谷町  
 敷地面積 214.01 m<sup>2</sup>  
 1階床面積 76.78 m<sup>2</sup>  
 2階床面積 56.95 m<sup>2</sup>  
 延床面積 133.73 m<sup>2</sup>





# 最優秀賞

リフォーム部門



【外観】改修後



【外観】改修前



【キッチン】改修前



【和室】改修前



【キッチン】改修後



【和室】改修後

## 長崎市 N邸

歴史と現代がほどよく調和したすまい

### Data

設計者 株式会社 降幡建築設計事務所

施工者 株式会社 浜松建設

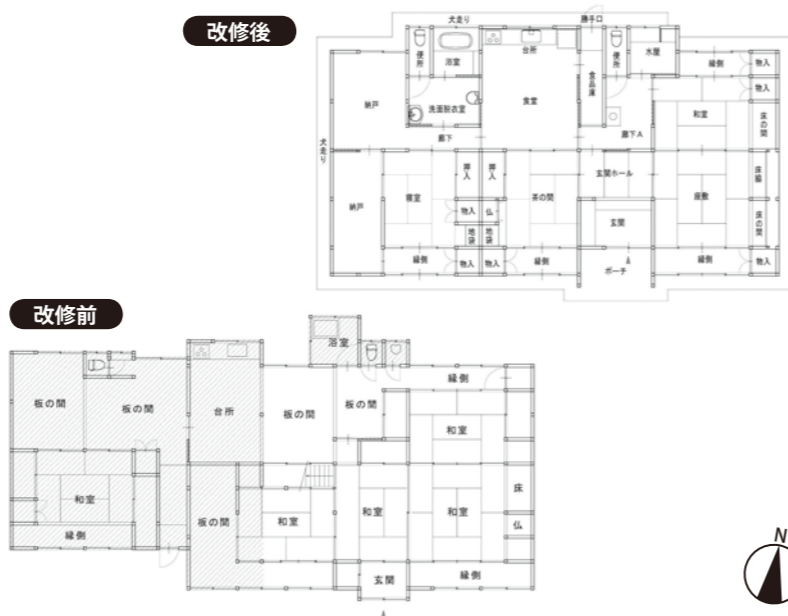
建設地 長崎市錦町

敷地面積 399.31㎡

1階床面積 170.08㎡

延床面積 170.08㎡

築80年の住宅



### ◆ 住宅の特徴

#### 《リフォームしたところ》

原爆で被爆し、壁や瓦が吹き飛ばされ骨組みのみになりながら、奇跡的に親子三人無傷で守った民家を再生（リフォーム）した。戦後瀕死の民家は、順次手を加えられたが、幸いに残された大黒柱や差鴨居、梁等の既存主要木構造は、ほぼ使用できた。玄関、食堂には、屋根の構造材上に見せている。続き間の和室の一つは、茶道ができるように炉を切り、台所等の水回り関係は、現代的な設備を入れ、機能的にリフォームした。

#### 《リフォーム後の感想》

単なるリフォームではなく、原爆に耐えた家を残すという平和への意義を持つ再生であった。ずっと家を守ってきた柱や梁は、新築にはない懐かしさと歴史を感じることができる。

再生（リフォーム）後、現代的で暮らしやすく、ずっと前から住んでいるような落ち着きのある、歴史と現代とがほどよく調和された再生（リフォーム）となった。



玄関外部

玄関内部



【屋根】改修前



【屋根】改修後



【外観】改修前



【外観】改修後



【玄関ホール、和室】改修前



【居間】改修前



【玄関ホール】改修前



【キッチン】改修前

【玄関ホール、和室】改修後

【玄関ホール】改修後



【居間】改修後



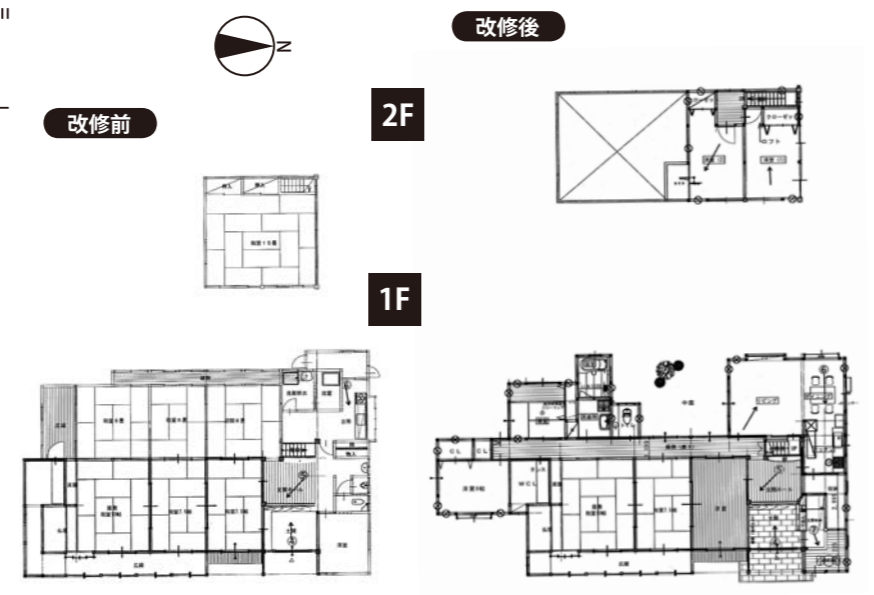
【キッチン】改修後

# 諫早市 S邸

東向き田の字型プランの弱点を克服したすまい

**Data**

設計者	有限会社 ニシヤマ建築設計事務所
施工者	井手住建
建設地	諫早市森山町
敷地面積	1036.00 m <sup>2</sup>
1階床面積	181.50 m <sup>2</sup>
2階床面積	34.39 m <sup>2</sup>
延床面積	215.90 m <sup>2</sup>
築	130年の住宅



## ◆ 住宅の特徴

### 《リフォームしたところ》

既存の住宅は立地条件から東むき間取りで冬寒くて、夏は暑い、通風がない、日当たりが悪いとの相談があり、現場をみせてもらった。使ってある材料を見たらすばらしくこれは絶対壊すべきでないと、建築主と設計者の意見が一致しました。

不便なところ、暗く、陽が当たらない寒いところは改修するが、『いいところはできるだけ残して、今の暮らしに生まれ変わらせよう』をキャッチフレーズに建築主と設計者はリフォームに取り組みました。

まず築後130年の母屋の和室の続き間、三部屋と2階は(子供室)に残し、下屋廻りは全て撤去し、寝室、老人室、居間、キッチン、水回りを再度増築しました。中庭を設けることで居間、既存和室の日当たり、通風を確保しました。玄関横にご主人の木の火鉢をおき癒しの部屋も設けました。

### 《リフォーム後の感想》

リフォームをして良かったと大変喜んでもらってます。なによりも先祖の残してくれたのを継承されること、日当たりが良くなって、明るく、風通しがよくなったこと、室内の段差が解消されて、水回りが便利に快適になったことです。



【癒しの部屋】



【中庭】



[外観]



[天井]



[ダイニング・キッチン]



[囲炉裏]



[居間]



[玄関]



[かまど]



[屋根] 改修前



[和室]

# 諫早市 F邸

家族全員で現代と昔を同居させる生活空間づくり

## Data

- 設計者 酒井工務店
- 施工者 酒井工務店
- 建設地 諫早市目代町
- 敷地面積 400.20㎡
- 1階床面積 120.60㎡
- 延床面積 120.60㎡
- 築 140年の住宅



### ◆ 住宅の特徴

#### 《リフォームしたところ》

140年前の実家、屋根と壁の全面改修をし、柱、梁、天井等は米糠で磨き建具はそのまま残しました。

水回りの改修として、台所は対面カウンターとし、便所、浴室は、現代風の使い勝手としました。

8畳の居間は畳を板張りに替え、中央に掘り炬燵を設け、間仕切りの建具を開くと広い空間となります。

玄関ホールは土間であったが納戸を取り入れ、板張りにし昔の建具、家具、調度品といろりを設置した。

昔からの農家であり、建具、調度品なども多く、天井や壁を磨くと、木の現しが良いため、壊すのを止めてできるだけ保存する方向に気持ちが動きました。(いまは、省資源・エコの大事さを感じているところです)

#### 《リフォーム後の感想》

老朽化して廃屋寸前のリフォームでありましたが、家族全

員で手を加えると昔の家が生き蘇ったようです。

柱、梁、建具等の素材は、家族みんなで磨き手を加えたことで、昔の住まい方の風情を感じさせます。

当初、リフォームか復元修理か迷いましたが、現代と昔を同居させる生活空間とした折衷案となりました。

現在は、数キロ離れた市内に居住していますが、毎週土日に郊外のこの家でのんびり過ごし、家庭園芸を楽しんでいます。これから、手を加えたいところはたくさんあり、時間を掛けて挑戦することに生き甲斐を感じるこの頃です。





【外観】改修前



【外観】改修後



【外観】改修後



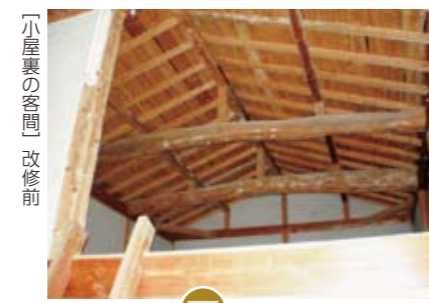
【外観】改修前



【台所より居間】改修前



【居間】改修前



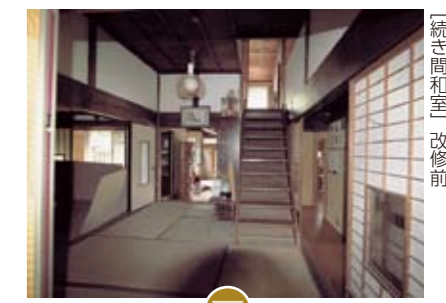
【小屋裏の客間】改修前



【ダイニング・キッチン】改修前



【洋室】改修前



【続き間和室】改修前

【台所より居間】改修後

【居間】改修後

【小屋裏の客間】改修後

【ダイニング・キッチン】改修後

【洋室】改修後

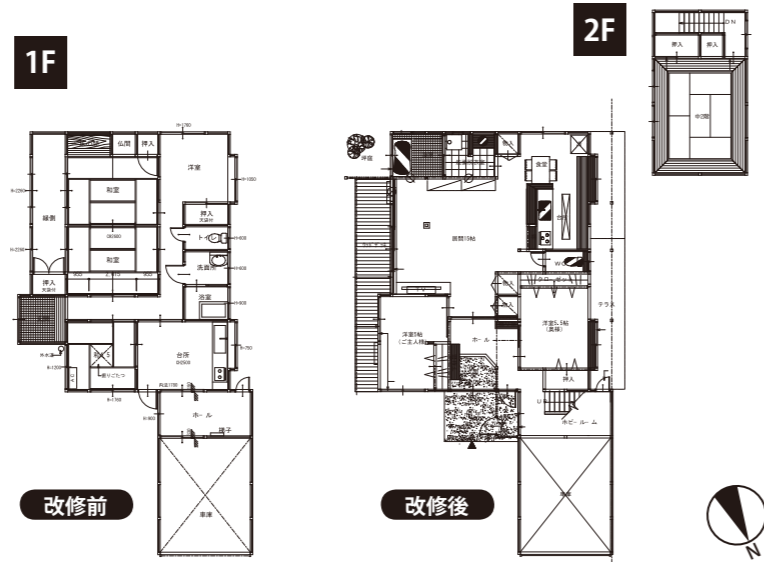
【続き間和室】改修後



# 長崎市 M邸

空き家を古民家風に再生した眺望ゆたかなすまい

- Data**
- 設計者 有限会社 アクトホーム 一級建築士事務所
  - 施工者 有限会社 アクトホーム
  - 建設地 長崎市中里町
  - 敷地面積 385.00 m<sup>2</sup>
  - 1階床面積 120.76 m<sup>2</sup>
  - 2階床面積 26.12 m<sup>2</sup>
  - 延床面積 146.88 m<sup>2</sup>
  - 築40年の住宅



美しい山並みや古桜木の眺望を手に入れたすまい

# 波佐見町 F邸

- Data**
- 設計者 株式会社 波建
  - 施工者 株式会社 波建
  - 建設地 東彼杵郡波佐見町
  - 敷地面積 440.00 m<sup>2</sup>
  - 1階床面積 186.30 m<sup>2</sup>
  - 2階床面積 39.70 m<sup>2</sup>
  - 延床面積 226.00 m<sup>2</sup>
  - 築75年の住宅



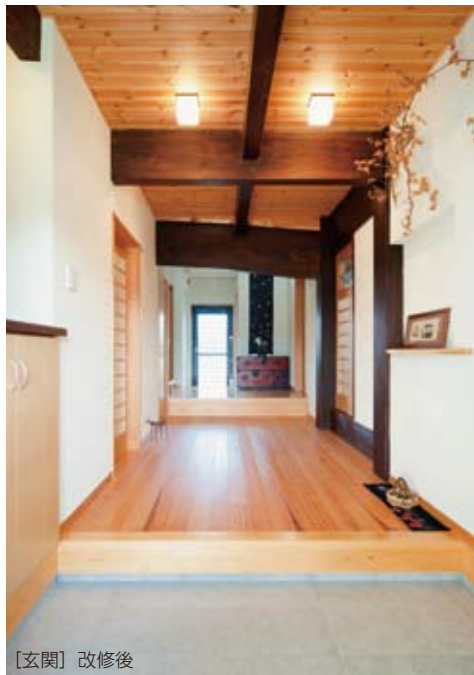




【外観】改修前



【外観】改修後

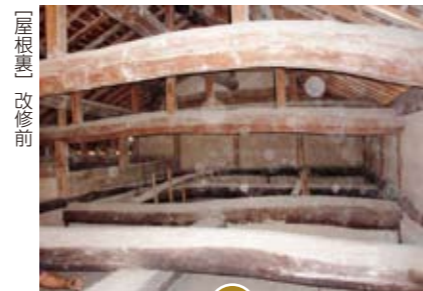


【玄関】改修後



【居間】改修前

【居間】改修後



【屋根裏】改修前

【屋根裏】改修後

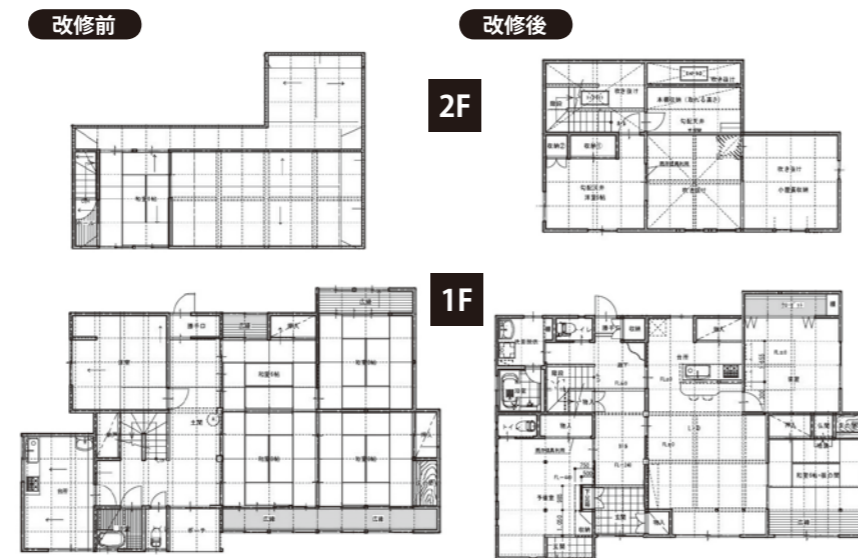


# 雲仙市 M邸

100年の息を吹き込まれたすまい

## Data

- 設計者 風の森プランニング  
浜松建設一級建築士事務所
- 施工者 株式会社 浜松建設
- 建設地 雲仙市瑞穂町
- 敷地面積 630.42㎡
- 1階床面積 137.51㎡
- 2階床面積 42.65㎡
- 延床面積 180.16㎡
- 築 100年の住宅



## 「木の良さを活かした長崎の住宅」募集案内



新築部門・リフォーム部門  
応募期間 平成21年8月3日(月)～10月30日(金)

後援団体 NBC長崎放送/KTNテレビ長崎/NCC長崎文化放送/NIB長崎国際テレビ/NHK長崎放送局/  
(株)長崎新聞社/(社)長崎県木材組合連合会/(社)長崎県建築士会/(社)長崎県建築士事務所協会/  
(社)長崎県建設業協会/(社)長崎県中小建設業協会/(社)長崎県工務店連合会/長崎県住宅供給公社/  
(財)長崎県住宅・建築総合センター

主催 長崎県

## 新築部門・リフォーム部門

### 応募状況

- (1)応募期間…平成21年8月3日～平成21年10月30日
- (2)応募概要…応募総数 89点(新築:62点 リフォーム:27点)

### 審査委員

- 伴丈 正志 長崎総合科学大学建築学科教授
- 宮原 和明 長崎県ゆとりある住まいづくり推進協議会会長
- 川島 邦元 (社)長崎県建設業協会建築委員長
- 荒木 由美 (社)長崎県建築士会女性委員長
- かくくにこ シニアライフアドバイザー
- 中野 善弘 (社)日本建築家協会九州支部長崎会会長
- 吉田 茂実 長崎県農林部林務課長
- 大場 光洋 長崎県土木部住宅課長

### 表彰

	新築部門	リフォーム部門
最優秀賞	—	1点
優秀賞	3点	2点
入賞	10点	3点

### 主催



### 後援団体

- NBC長崎放送/KTNテレビ長崎/NCC長崎文化放送/NIB長崎国際テレビ/NHK長崎放送局/(株)長崎新聞社/  
(社)長崎県木材組合連合会/(社)長崎県建築士会/(社)長崎県建築士事務所協会/(社)長崎県建設業協会/  
(社)長崎県中小建設業協会/(社)長崎県工務店連合会/長崎県住宅供給公社/(財)長崎県住宅・建築総合センター

### 対象となる住宅

新築部門	
構造	木造
工事種別	新築
用途	戸建て専用住宅
規模	述べ床面積280㎡以下
建設地	長崎県内
建設時期	平成19年10月1日～ 平成21年10月30日

リフォーム部門	
構造	木造
工事種別	リフォームされた住宅
用途	戸建て専用住宅
規模	述べ床面積280㎡以下
建設地	長崎県内
建設時期	平成18年4月1日～ 平成21年10月30日



2009年  
第12回 木造住宅コンクール

《新築部門》 応募作品集





2009年  
第12回 木造住宅コンクール

《新築部門》 応募作品集 





# 2009年 第12回 木造住宅コンクール

## 《リフォーム部門》 応募作品集

